様式２

学 校 評 議 員 会 議 録

開催日時	平成 26 年５月 22 日(木)　17 時 00 分　～　18 時 00 分	
会　　場	北毎道釧路湖陵高等学校　校長室	
出席者数	学校評議員　４名	学校側　５名
出席者名	天　方　智　順 佐　藤　文　昭 服　部　恵　子 北　南　和　彦	宮　下　祐　司(校　長) 赤　津　博　久(副校長) 近　藤　浩　文(教　頭) 矢　橋　佳　之(教　頭) 中　道　憲　彦(事務長)

校長が意見を求めた事項	学　校　評　議　員　の　意　見　等
学校概況及び課題解決に向けた取組について	【全日制】 １　医進類型について 学校経営方針を基に説明を聞けば、それぞれの進路希望に応じたものとなっていることが理解できるが、新聞記事を見て医学部進学にのみ力を入れているように誤解している卒業生もいる。外部や中学生への適切な説明をお願いしたい。 ２　ホームページについて 年度当初より様式が変更され見やすくなった。生徒の活動を外部に向けて積極的に発信して欲しい。 ３　地域との関わりについて 「釧路から早く出て行きたい」と行っていた卒業生がいたと聞く。生徒達は土日も授業、講習、部活動があり忙しいのもわかるが、郷土を愛する気持ちや地域との関わりが薄れているように感じた。 ４　普通科入学生について 中学校卒業生が減少している状況では仕方がないのかもしれないが、石狩を除く他管内のトップ校に比べて普通科入学生の偏差値が下がっているようなので危倶している。SSH の事業が普通科にもメリットになるような工夫をして、優秀な生徒が集まるようにしてもらいたい。 【定時制】 １　入学者数について 全日制の高校以上に、生徒数の減少が深刻な状況であることがわかった。ただ､数が減ったとはいえ､特別な支援を要する生徒は逆に増えているようであり、対応がさらに大変になるように感じた。 ２　退学者数について 在籍数に対する退学者数の割合が増えている。親がやめていいと言ったからやめた生徒もいるという話を聞き、家庭の教育力も落ちていると思う。

上記のとおり会議を開催した。

平成 26 年 5 月 23 日

北海道釧路湖陵高等学校長　宮　下　祐　司

※　別の書式により意見聴取の内容を整理している場合は、それを添付し保管すること。

※　配付資料等を添付し保管すること。